

様式2

記入例

土地改良財産他目的使用契約書

管理者笠岡市（以下「笠岡市」という。）と使用者とは、笠岡市が管理する土地改良財産（以下「財産」という。）を岡山県土地改良財産の管理及び処分に関する条例（昭和47年岡山県条例第25号）第4条の規定により、使用者が使用することについて、次のとおり契約を締結する。

記

第1条 笠岡市は笠岡市が管理する財産をその本来の用途又は目的を妨げない限度において、使用者に使用させるものとする。

第2条 笠岡市が使用者に使用させる財産は、次のものとする。

種目	種類	所在	構造及び規模	数量	使用に係る財産の範囲
笠岡地区 農道離着 陸場		笠岡市 カブト西町 カブト中央町	滑走路 800×25m 離着陸帯 920×60m 誘導路 37.5×9m エプロン 50×40m	一 式	付帯構造物を含む ただし幹線4号以北を除く

第3条 笠岡市は、前条の財産を、次の用途又は目的及び方法により使用者に使用させるものとする。

用途又は目的	使用の方法
使用許可申請書の内容と統一させて記入	具体的な使用内容を記入

2 使用者は、前条の財産を前項に定める以外の用途又は目的及び方法により使用してはならない。

第4条 使用日時は次のとおりとする。

〇〇年 〇〇月 〇〇日（〇） 午前・午後・終日

第5条 使用者は、第3条第1項に規定する使用の方法を変更しようとするときは、笠岡市に協議し、その指示を受けるものとする。

第6条 使用者は、この契約により承諾を得ないでこの契約により生じた権利を譲渡し又は転貸してはならない。

第7条 使用者は、この契約により使用者として注意をもって財産の維持保全を行わなければならない。

2 使用者は、この契約により当該財産に損傷を与え、又は与える恐れがあるときは、笠岡市の指示により使用者が必要な措置を講ずるものとする。

3 使用者は、この契約により第三者に損害を与えたときは、その賠償の責めに該使用者が負うものとする。

4 使用者は、この契約により第三者に損害を与えたときは、その賠償の責めに該使用者が負うものとする。

5 使用者は、この契約により第三者に損害を与えたときは、その賠償の責めに該使用者が負うものとする。

第9条 使用者は、第4条に規定する期間が満了したとき、又は財産を第3条に定める用途若しくは目的に使用する必要がなくなったときは、速やかに財産を現状に復し、笠岡市の検査を受けるものとする。

第10条 笠岡市は、使用者がこの契約に定められた事項に違反したときは、この契約を解除し、これにより生ずる損害の賠償を使用者に請求できるものとする。

なお、使用者はこの契約を解除することにより生じた損害を笠岡市に請求できない。

第11条 使用者は、他目的的使用に起因して第三者に損害を与えた場合は、使用者の責任において全ての損害賠償を行うものとする。

第12条 笠岡市は、使用期間中であっても、財産の維持、保存及び運用を目的とする改築、追加工事等の必要があるときは、この契約を解除し、又は使用方法の変更を請求できるものとする。

第13条 この契約について疑義が生じたとき、又はこの契約を変更する必要があるときは、その都度笠岡市と使用者とが協議して定めるものとする。

この契約の締結を証するため、本書2通を作成し、笠岡市、使用者記名押印の上、それぞれ1通を保有するものとする。

〇〇年 〇〇月 〇〇日

岡山県笠岡市中央町1番地の1
笠岡市
笠岡市長

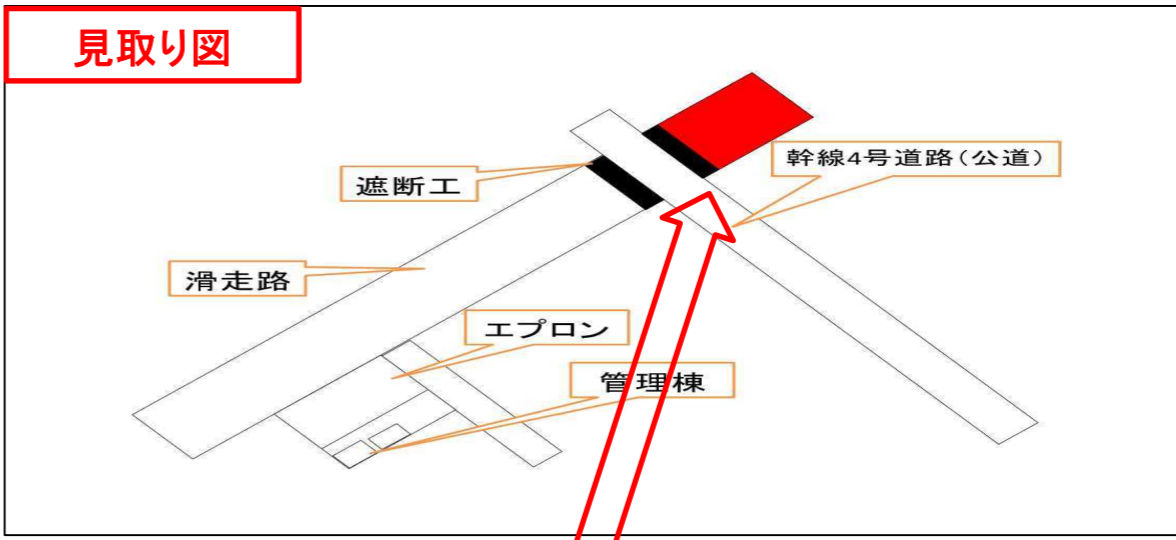
使用者

所在地 笠岡市中央町1-1
団体名 産業部農政水産課
代表者 笠岡 太郎

笠

許可日を事務局にて記入しますので、日付は空欄のままご提出下さい。

見取り図



見取り図における赤色の部分を駐車場等で使用される場合は、「ただし幹線4号以北を除く」の文言を消して申請して下さい。

[使用の方法のご記入に関して]
より具体的な内容をご記入下さい。

例) 学生活動 → エプロンにて組立て兼待機場として使用し、滑走路にて人力飛行機を飛ばす。

例) 車輛走行会 → 滑走路を使用した走行会、およびエプロンを待機場として使用する

「エプロンにて〇〇、滑走路にて〇〇する」のように、詳細の記入をお願いします。

[使用者のご記入に関して]
許可申請書に記載した代表者と同じ情報をご記入下さい

印鑑は、丸印もしくは、代表者様の印鑑にて押印下さい
※角印のみの押印は許可できませんのでご了承下さい